



学校便り

体罰スローガン: 「トリプル A A せらず A わてず A きらめず」

学校評価アンケート分析結果の報告

校長 島津 睦雄

「学校便り 1月号」で比較グラフを掲載しましたが、2月号では学校評価アンケート分析結果を報告いたします。なお、3月の保護者会では、令和2年度の教育計画と合わせて概略を説明させていただく予定です。肯定的回答とは、達成度85%以上の回答と約70%の回答の合計割合が、70%以上になっている評価と考えております。

- 1.学校(先生方)は、教育目標や学年・学級の目標をわかりやすく伝えている。
 - 2.学校(先生方)は、教育計画説明会等において、保護者・地域に説明責任を果たしている。
 - 3.学校(先生方)は、積極的にあいさつ運動に取り組み、健全育成に生かしている。
 - 4.学校(先生方)は、生徒が安心して通えるところになっている。
 - 5.学校(先生方)は、体罰や不適切な指導がない、学校づくりに努めている。
 - 6.学校(先生方)は、いじめ防止基本方針に基づき、いじめ対策を実施して、すべての生徒が安心して充実した学校生活を送るように生活指導の徹底を図っている。
 - 7.学校(先生方)は、教科指導に力を入れ、わかりやすい授業、楽しい授業となっている。
 - 8.学校(先生方)は、常に生徒や保護者にとって相談しやすい環境を整えている。
 - 9.学校(先生方)は、様々な悩みに対して、スクールカウンセラーとの連携をしている。
 - 10.学校(先生方)は、宿題や課題などを出して、家庭学習ができるようにしている。
 - 11.学校(先生方)は、農業体験学習を通して、体験的なキャリア教育と小中コラボ教育を継続して取り組んでいる。
 - 12.学校(先生方)は、朝学習で「5教科の基礎学習」と新聞を活用した(NIE教育)を実施し、学力向上や生きる力を育てている。
 - 13.学校(先生方)は、地域のボランティア活動を推進し、学校生活の充実につながっている。
 - 14.学校(先生方)は、安全指導や避難訓練を実施し、自分の身を自分で守る指導をしている。
 - 15.学校(先生方)は、道徳教育に力を注ぎ、思いやりの心や規範意識を育てている。
 - 16.学校(先生方)は、生徒の部活動に熱心に指導し、積極的に入部できる体制を整えている。
 - 17.学校(先生方)は、清掃活動や美化活動に取り組み、校舎内は常にきれいにしている。
 - 18.学校(先生方)は、地域や学校の特色を生かした教育活動や学校行事を行っている。
 - 19.学校(先生方)は、ホームページなどの更新、学校だよりなどで情報を的確に伝えている。
 - 20.学校(先生方)は、食育指導の下に毎日おいしい給食を提供している。
 - 21.学校(先生方)は、学校行事(運動会・文化発表会)を参観しやすい曜日になっている。
 - 22.学校(先生方)は、保護者が参観・参加しやすい日程で、授業参観や保護者会を行っている。
 - 23.学校(先生方)は、生徒の主体性を育てる生徒会活動や委員会活動に取り組んでいる。
 - 24.学校(中学校教育)に期待することは、何ですか。(下記の①②から選んでください)
 - ① 授業の充実やきめ細やかな学習指導で、確かな学力の定着を期待する。
 - ② 部活動や学校行事の充実を図り、楽しい学校生活を送ることを期待する。
- ※ 5段階評価(「不明・分からない」の選択肢あり)

1. 結果の分析(肯定的回答が70%を下回った評価項目)

① 生徒・保護者・教職員が共通及び教員のみ項目と生徒のみ項目について

- 本年度は、肯定的な回答70%を下回る項目はありませんでした。

② 生徒・保護者共通項目について

- 9.学校(先生方)は、様々な悩みに対して、スクールカウンセラーとの連携をしている。生徒(63.2%)、保護者(67.8%)でした。
- 19.学校(先生方)は、ホームページなどの更新、学校だよりなどで情報を的確に伝え

ている。生徒（４７．１％）、保護者（６３．５％）でした。

- 20.学校（先生方）は、食育指導の下に毎日おいしい給食を提供している。生徒（６４．７％）、保護者（６２．６％）でした。

③ 保護者のみ項目について

- 6.学校（先生方）は、いじめ防止基本方針に基づく、いじめ対策を実施して、すべての生徒が安心して充実した学校生活を送るように生活指導の徹底を図っている。保護者（６７．９％）でした。
- 12.学校（先生方）は、朝学習において「基礎学習」の定着と向上に努めている。保護者（６８．７％）でした。
- 13.学校（先生方）は、地域のボランティア活動を推進し、学校生活の充実につながっている。保護者（６８．８％）でした。
- 16.学校（先生方）は、生徒の部活動に熱心に指導し、積極的に入部できる体制を整えている。保護者（５４．４％）でした。

2 改善の方針

前記の「肯定的回答が70%以下」の項目について、当面、改善を要する課題と考え、今後の対応方針を整理する。

- ① 生活指導に関わること「いじめ防止基本方針に基づく、いじめ対策を実施して、すべての生徒が安心して充実した学校生活を送るように生活指導の徹底を図っている」ことに対して、生徒（70．6％）、保護者（67．9％）、教職員（87．5％）であった。

生徒は昨年度から比べると肯定的な回答が伸びているが、現状として、いじめ防止対策がまだ不十分な所があり、今後も全教職員でしっかりと受け止める必要があります。本年度は傾向として生徒間のSNSを介した問題が発生し、情報モラル指導や保護者と連携・協力した指導体制を整えることも必要であります。

次に、心の教育の充実を図るためにも道徳教育では生徒（76．5％）、保護者（73．2％）、教職員（83．4％）の結果であり、全教育活動を通して「けじめや節度のある人間関係づくり」を学校経営の柱に、望ましい人格形成を目指します。また、「道徳科」の充実と生徒の集団的な主体性や自主性を育む指導を継続していくことから、いじめのない学校づくりに努めていきます。

- ② 教育相談に関わること「常に生徒や保護者にとって相談しやすい環境を整えている」に対しては、生徒（72％）であり、スクールカウンセラー（SC）との連携は、生徒（63．2％）、保護者（67．8％）であり、生徒の肯定的な回答が60%以上になり、本年度から新たに配置された都SCが常に生徒に寄り添う姿勢などが良い傾向になったといえます。今後も給食時の関わりや授業観察を通して、気軽に相談できるような関係ができることを期待しております。また、教職員は給食や清掃活動などで平素から生徒の良さや特徴を着実に捉える姿勢を保持しながら、常に「受容・共感的生徒理解」への理解を深め、都・区SCと連携した相談体制を整えながらきめ細やかな対応に努めていきます。ご家庭でのトラブルなどについても可能な範囲でSCに対応させますので、ご相談ください。

- ③ 学習指導に関すること「教科指導に力を入れ、わかりやすい授業、楽しい授業となっている」に対して、保護者（73．3％）、「宿題や課題などを出して、家庭学習ができるようにしている」は、保護者（73．2％）が共に本年度は肯定的な回答になりました。本校では、神中スタンダード（授業スタイル）を目指し授業研究に取り組んでいます。また、家庭学習支援事業（スクラムサポート）の先生方との連携が成果につながっているといえます。次年度も本年度以上に授業力向上を目指し、生徒の確かな学力に結びつくように、全校体制を取り組んでいきます。

- ④ 学習指導に関すること「学校は、朝学習において「基礎学習など」の定着と向上に努めている」に対して、保護者（68．7％）と認知度がまだ低いようであります。また、生徒の取組状況も二極化の傾向が見られ、課題でもあります。しかし、社会・理科コンテストを導入したことで、国語・数学・英語との比較ができ、生徒の意欲・関心度の差を見ることができました。今後も朝学習では「短期的な目標と成果」を実現させるために「学習コンテスト」を実施していきます。

